

2023年度診断評価等基準委員会 第2回委員会 議事録

開催日時：2023年11月13日（月）20時00分～21時00分

開催場所：Web開催

出席者（敬称略）：筑田博隆、本郷道生、高見正成、加藤 壯、福井充、金山雅弘、高橋真治、渡辺 慶、寒竹 司、川上 守、河村直洋、大和 雄、飯塚陽一

議題案

1. 胸髄症におけるアウトカム評価法の検証（プロジェクトリーダー：加藤委員）の進捗状況

現時点で9施設の多施設研究。

現在9症例がエントリー。

和歌山3、信州2、大阪公立2、浜松1、東大1。

目標50例。

当初の計画では2024年9月にエントリー終了の予定だが、もう少しのびるかも。

登録症例があった場合は、加藤委員にメール等で連絡を。

2. 成人脊柱変形に対する包括的新評価票作成に向けた多施設前向き研究（プロジェクトリーダー：大和委員）の進捗状況

研究1 質問項目の作成

研究2 質問項目の検証

質問票（案）をみながら意見交換をおこなった。

いくらか→ある程度、多少

短時間→1時間以内

重症度については、米国リウマチ学会の4段階の指標を参考とすることとなった。

また9段階の自覚的な評価尺度も併用する予定。

今後の予定

JSSRの倫理委員会（1-2か月）→参加研究施設をふやして研究2を開始。

3. LSS 疾患特異的アウトカム評価のための症状スケールと QOL スケール検証（プロジェクトリーダー：関口委員）

福井先生よりご説明いただいた。

もともと 10 歳きざみで年齢を階層化し、標準値をだす予定だったが、多少広く 15 歳きざみとするのもよければ、現在手元にあるデータで解析が可能。

→エントリーを終了し、解析にすすむことで決定した。

現在特に研究費等は問題ないとのことであったが、来年度の予算案作成時に必要な経費を計上してもらうようお願いした。（筑田理事より）